

若者と企業の出合いの場を創出 輝く企業の人財力向上プロジェクト 合同企業説明会

7月7日、転職・再就職希望者と平成31年3月卒業見込みの大学生等を対象とした合同企業説明会が、AER（仙台市）で行われた。製造業をはじめ、ITや福祉などさまざまな業界から県内に事業所や工場を持つ45社がブースを構え、参加者は企業の担当者から、事業内容や企業の強みなどの話を聞いた。

参加した専門学校生は、「事務関連の資格を持っているので、それを生かしたいと考えています。今回参加して、製造業にも事務系の仕事があることを知り、就職先の選択肢が広がりました」と話した。

同説明会は、県内中小企業の「人材確保」「職場定着」「魅力ある職場づくり」を支援する「輝く企業の人財力向上プロジェクト」の一環。説明会には、同プロジェクトで行われたセミナーを受講した企業も出展した。ある企業の採用担当者は、「売り手市場と呼ばれている中で新卒者や若い人材を確保するためには、求人への応募を待つだけではなく、積極的な仕掛けが必要だと感じています。今回の説明会では、セミナーで学んだことを実践する貴重な場ですので、十分に会社のアピールができるよう努力したいです」と話した。

同プロジェクトの担当者は、「このプロジェクトを通じて、県内の中小企業のみならず積極的にかつ計画的な採用活動を展開し、優秀な若い人材の確保につなげていってほしいです」と話した。



参加者に自社の製品の魅力を語る企業担当者



参加者と企業の間で、盛んな意見交換が行われた

中学生が将来の夢や目標について考える 平成30年度宮城県ネクストリーダー養成塾

8月3日から5日にかけて、「平成30年度宮城県ネクストリーダー養成塾」が、県庁と東北自治総合研修センター（富谷市）で行われた。同養成塾は、震災からの復興を支える次世代のリーダーを養成しようとして、県内の中学生を対象に講話やグループワークなどを通じて、自分の将来の夢や目標について考えるもの。7回目となる今年度は、52人の生徒が参加した。

4日には、東北大学サイエンス・エンジェルと株式会社セシヨナブル代表取締役の梶屋陽介さんによる講話があった。

研究生活や理系進路選択の魅力や伝える活動を行う、東北大学の自然科学系部局に所属する女子大学生「東北大学サイエンス・エンジェル」の講話では、ミジンコや環境科学、地域

医療などの研究を行っている3人の女子大学生が登場。自身の進路選択や研究生活について紹介し、「勉強はもちろん部活や生徒会活動など、中学生の今しかできないことに全力で取り組んで」「やりたいことは惜しむことなくチャレンジ！」「英語は文系理系を問わず重要、いろんなチャンスに飛び込んでほしい」と中学生に伝えた。

また、女川町で東北の素材や技術を使った新しいギター産業を展開する梶屋さんは、「成し遂げるために挑戦すること」と題して、起業までの経緯を説明した。梶屋さんは、「夢を追求して、実現するための志に変えることが大切。みなさんも夢のままで終わらせないで、やり遂げてください」とエールを送った。



生徒の質問に答える東北大学サイエンス・エンジェルの3人



「多くの人や物に触れ、自分の器を大きくしてほしい」と語る梶屋さん

工作を通じて「クローラー」の仕組みを知る トヨタ東日本学園 夏休み親子工作教室



トヨタ東日本学園の学園生が優しく丁寧につくり方を教えた



テスト走行の様子。4本のクローラーを駆使して障害物を乗り越えた

7月21日と22日に、トヨタ東日本学園（大衡村）で恒例の「夏休み親子工作教室」が行われた。この日集まった県内の小学生と保護者が、一般には「キャタピラ」の名称で知られるクローラー（無限軌道）で走る「レスキューロボット」の製作を楽しんだ。

児童は、同学園生の説明を聞きながら、4本のクローラーが装備された台車を組み立てた後、紙コップやウレタンなどの材料を使ったコックピットを自由に作り、レスキューロボットを完成させた。

テスト走行では、レスキューロボットが、障害物を楽々と乗り越えて進む様子を確認。ある児童は、「部品をネジで付けたところが難しかったけれど、ちゃんと完成してうれしかったです」と話した。

サポートを務めた学園生は、「子どもたちががががをすることなく、楽しく工作してもらえようように準備と試作をしました。最初は、子どもたちに分かりやすく教えることができなかった不安でしたが、作品の完成を喜んでくれたので安心しました」と語った。

同工作教室は、トヨタ自動車東日本株式会社（大衡村）と宮城県が主催で、今回で6年目の開催。

気になる企業の声を直接聞く 平成30年度高校生のための合同企業説明会

今年7月に、「平成30年度高校生のための合同企業説明会」が、県内6カ所で行われた。

7月25日に田尻総合体育館（大崎市）で行われた説明会では、55の企業と団体、高校生427人が参加。生徒は希望する企業のブースに移動して企業の担当者から話を聞いた。

参加した生徒は、「企業のみならず、とても分かりやすく丁寧な説明をいただくことができました。地元にも、世界で使われている製品を作っている企業があることを知って驚きました」と話した。

ある企業の採用担当者は、「高校生のみなさんと年齢が近い同世代の社員が多いことをアピールしました。業務の内容だけでなく、職場環境についても知ってもらい、多くのみなさんに興味を持ってほしいです」と話した。

同説明会は、宮城労働局ハローワーク、宮城県などが主催。ハローワークの担当者は、「高校生のみなさ



企業担当者の熱の入った説明を、生徒たちは真剣に聞いていた

学生と社会人がみやぎで働く魅力を考える Think! LOCAL 〜今、地方就職が熱い3つの理由〜

8月18日、将来地元就職を考えている学生に向けて、県内で活躍する社会人が地方で働く魅力を直接伝える「Think! LOCAL」が、エンスペー（仙台市）で行われた。

第一部の就職セミナーでは、株式会社Paier代表の羽山暁子さんが、「今、地方就職が熱い3つの理由」をテーマに講話を行った。

羽山さんは地方就職の魅力について、東京と比べて「ビジネスにつながる課題が多い」「プレイヤーが少なく活躍の場が多い」「通勤ラッシュなどのストレスが少ない」ことを挙げ、「変化し続ける今の時代を生きるために、独自性を生かすことが大切。地方はそのチャンスが多いところです」と強調した。

第二部では、羽山さんをはじめ、東京で就職を経験し、現在は県内で活躍している社会人3人によるパネルディスカッションが行われ、「最近の就活」「地方で働く」「東京で働く」など9つのテーマから、参加した学生が選んだ内容について討論が繰り広げられた。

同セミナーは、インターシップを通じて首都圏や県内の学生と県内のものづくり企業のマッチングを進める宮城県地方創生インターシップ事業「MINT」の一環。参加した大学生は、「地方就職についてあらためて考える良い時間になりました。自分の目標を見つづけるため一旦東京で働き、将来的に地元に戻る、という選択も有効だと思いました」と話した。



地方就職の魅力やメリットについて説明する羽山さん



多彩な経歴を持つパネリストの話に、参加者は熱心に耳を傾けた

「これからのイベント開催情報」

- サイエンスプラス（ものづくり体験教室）

栗原地域の企業・学校などが連携して、楽しみながら学べるものづくり体験教室を開催します。今年も多彩な22のプログラムを用意しています。

【開催予定日】
日時／9月29日（土）10時～15時30分
場所／東北職業能力開発大学校
参加方法／当日受付（事前申込不要）
参加人数に限りのあるプログラムは、当日整理券を配布します。
問／022-211-2764
（宮城県産業人材対策課）
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/scienceplus.html>
- みやぎまるごとフェスティバル2018

「技きりり 味きりり みやぎのふれあい、ここにあり。」をテーマに、県内各市町村の特産品や農林水産物、工芸品の展示・販売を行います。親子で楽しめるクイズラリーや、県産食材と仙台味噌を使ったお振る舞い、ステージイベントも開催します。

【開催予定日】
日時／10月20日（土）・21日（日）10時～16時
場所／宮城県庁、勾当台公園、市民広場
問／022-211-2815
（みやぎまるごとフェスティバル実行委員会）
<http://manugoto2018.info/>